



# よろこばせごっこ ~上組っ子通信~

No. 6

令和2年 5月25日

学校の教育目標；五ヶ瀬を愛し、ともに学び合い、ふれあい、高め合う子どもの育成

五ヶ瀬町立上組小学校 TEL 0982-82-0212 FAX 0982-82-0229 文責；校長 三橋正洋

## これからの社会を生き抜くための力とは…

ある日のある学級の朝の会のシーンのシーンです。担任の先生がこう問いかけました。

「昨日、奉仕作業がありました。中には地域の方々も参加されていました。なぜこの学校に子どもがいない方が参加されたのでしょうか？」

小学生にはとても難しい質問です。私だったら多分こう言うでしょう。

「昨日、奉仕作業があって、保護者や地域の方々がたくさん、みんなのために頑張ってくださいました。本当にありがたいことです。ぜひみなさんも感謝の気持ちをもってあいさつなど、頑張っていきましょう！」

先日、日隈俊郎県教育長の挨拶を視聴する機会がありました。その中で、

「これまでは『答えを見つける』教育でしたが、これからは『答えのない時代』を迎えます。

そのため、“ベストな答えまたはベターな答えを見つけ出す力”が必要です。」

というお話がありました。先ほどの朝の会での会話は、正に“ベストな答えまたはベターな答えを見つけ出す”教育だと思います。五ヶ瀬町全体で取り組んでいる教育のキーワードは、「21世紀学力への対応～認知能力（テストで測れる力；点数等）と非認知能力（テストで測れない力）の育成」です。6月の参観日でもお話ししますが、非認知能力とは、端的に言うと、

総合的な人間力（意欲・自制心・粘り強さ・勤勉性・協調性・思いやり・計画性などの能力。この能力は、認知能力よりも、将来生きていくうえで、社会的成功に結び付きやすい。

です。

私自身を振り返ってみると、「人から指示されて動く」という一番楽な方法をとることが多かったです。自分自身で何も考えることなく、流れに身を任せる…しかし、これはAIの能力の方がずっと上です。今、人類は新型コロナウイルス感染症というこれまで経験のないたたかひをしています。“今後どうなるのか”多分AIがこれまでのビックデータを基に解析し、予測していると思います。しかし最終的に判断を下すのは人間です。最近の報道に

“テレワークを導入することによって、遠方へ出張に行かなくてよくなり経費が浮いた”

“テイクアウトやオンラインショッピングによって、売れ行きが上がってきた”

など、新しいアイデアを生み出す人たちがいます。こういう人たちが、今の日本を支えているのです。これまでの常識をくつがえす、これこそ非認知能力です。前大阪市の校長であった木村泰子先生は“大変”とは大きく変わると書きます。ピンチをチャンスに変える時です。“とされています。これからは「指示待ち」ではなく、多様な状況を自分でたくましく乗り越えていく力を、子どもたちに身につけていく、という思いで、これからも子どもたちと接していきたいと思っています。ご家庭でも、子どもが考え、判断する時をぜひよろしくお願い致します。

## 上組っ子笑顔スケッチ

本日より、「学校再開」となりました。学校生活自体はさほど先週とは変わりませんが、気持ち的には随分先が明るい気持ちとなります。もちろんまだ緩みは禁物です。「新しい生活様式」に沿って、「安全宣言」が一刻も早く出るように、根気強く取り組んでいきます。

さて今回は、笑顔の輪を広げるために、今月見つけた「上組っ子笑顔スケッチ」をお届けします。



プール清掃(5/21) 3~5年  
終わった後みんなでポーズ!



野菜の苗を植えたよ(5/15)  
1~4年



校門掲示板の前でパチリ! 笑顔が  
上手ですね。(5/22)



少し見づらひですが、職員室前廊下にあります。  
全員笑顔です! 来校時には見に来て下さい...



※お礼です…※

19日(火)の奉仕作業には、たくさんの保護者・地域の方々に、さまざまな道具や重機をもっていただき、草刈・枝切・空き缶つぶし等、安全な環境づくりのためにご協力、本当にありがとうございました。早速、翌日から子どもたちは明るくなったグラウンドで、遊んだり体育をしたりしていました。



21日(木)には、PTA企画委員6名の方に、今後のPTA活動の話合いをしていただきました。みなさんのお力添えあって、笑顔あふれる学校生活ができます。

心より感謝申し上げます。今後とも、温かいご支援のほど、よろしくお願ひいたします。

